

第 145 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2026 年 8 月 19 日（水）10:00～11:15

2. 場 所：オンライン会議（Teams）

3. 出席 14 名、欠席 22 名（役職順／所属順、敬称略）

	役割	氏名	所属学協会	出欠
1	議長	中野 智仁	日本技術士会/日本原子力学会	出席
2	副議長(正)	藤木 篤	日本工学教育協会	欠席
3	副議長(副)	金光 秀和	日本機械学会	出席
4	幹事(正)	竹居 信幸	日本技術士会	出席
5	幹事(副)	鈴木 賢太	日本工学教育協会	出席
6	幹事(副)	栃内 文彦	日本機械学会	欠席
7	委員	皆川 勝	公正研究推進協会	出席
8	委員	吉開 範章	公正研究推進協会	出席
9	委員	横山 明彦	電気学会	出席
10	委員	横山 真吾	電気学会	出席
11	委員	森下 壮一郎	電子情報通信学会	欠席
12	委員	木下 宏揚	電子情報通信学会	欠席
13	委員	伊藤 和也	土木学会	欠席
14	委員	三輪 準二	土木学会	
15	委員	鈴木 慎一	日本化学会	
16	委員	大場 恭子	日本原子力学会	
17	委員	平田 京子	日本建築学会	出席
18	委員	吉田 和行	日本非破壊検査協会	
19	委員	村田 裕幸	日本マリンエンジニアリング学会	
20	学識委員	仙田 満	日本工学会フェロー	
21	事業担当理事	蘆立 修一	日本工学会理事会	出席
22	アドバイザー	長島 昭	元議長	
23	アドバイザー	池田 駿介	元議長 日本工学会フェロー	
24	アドバイザー	大輪 武司	元議長	
25	アドバイザー	日高 邦彦	元議長 電気学会	
26	アドバイザー	三木 哲也	元議長 電子情報通信学会	出席
27	アドバイザー	桑江 良明	元議長 日本技術士会	
28	アドバイザー	札野 順	元議長 日本工学教育協会	
29	アドバイザー	松久 寛	元議長 日本機械学会	
30	アドバイザー	草柳 俊二	元議長 土木学会	
31	アドバイザー	南 裕二	前議長 電気学会	
32	アドバイザー	石川 孝重	日本建築学会	出席
33	オブザーバ	吉沢 清晴	日本技術士会	
34	オブザーバ	岩西 伸介	土木学会	
35	オブザーバ	鎌田 潤一	日本建築学会	出席
36	事務局	井上雅訓 (木暮 賢司)	事務局	代理出席

4. 議題

- (1) 前回議事録（案）について
- (2) 2026年度（第22回）のシンポジウムについて
- (3) AIPRINとの連携企画案
- (4) 会員学協会活動報告について（報告）
- (5) 次回以降協議会日程について（審議）（資料なし）
- (6) その他

5. 議事

(1) 議事録案の確認

前回議事録については、非公開版の方が詳細であるため、そちらをベースに確認が行われた。

(2) 2026年度12月シンポジウムの企画・進捗

現時点での暫定計画は以下の通りである。

日時：12月10日（木）13:00～17:00

場所：建築会館

テーマ：「科学技術にAIが導入されることで変化する技術倫理教育」

(3) APRINとの連携企画提案

1. 提案の背景

皆川氏および三木氏より、APRIN（エイプリン）理工学系分科会から、技術倫理協議会との連携企画が提案された。背景として、APRINは設立10周年を迎え、今年度は外部の関連団体との連携事業を各分科会で推進する方針にある。理工学系分科会としては、現在作成中の教材を題材に、技術倫理協議会と合同で意見交換を行いたいという意向である。

2. 対象教材

作成中の新教材のテーマは、「企業の技術開発における倫理課題」である。

組織と個人の両面から、技術者の不正とその対策を扱う教材であると説明された。

3. 協議会側の反応と整理

技術倫理協議会側にとっても学びの機会になる。意見交換の場として有意義であるとして、前向きな評価を示した。出席者からも反対意見は特になく、実施を進める方向で了承された。

・日程設定の考え方

技術倫理協議会の定例会と同日開催にはこだわらない。そのため、1月中旬～下旬を候補とした日程調整を関係者へ行うことになった。

4. 名義・位置づけに関する議論

技術倫理協議会が正式な共催・協賛主体となるよりも、技術倫理協議会のメンバーに参加を呼びかける形とする。APRINが主催し、技術倫理協議会との関係性は、参加協力・連携の文脈で表現する方向で整理された。

(4) 会員学協会活動報告について（報告）

会員学協会活動報告について（報告）（技倫資料145-5）

	学協会名	報告概要
1	公正研究推進協会	
2	電気学会	1. 8/19 に倫理委員会を開催予定 2. 8/28 に倫理研修会を開催予定（下記 URL から申込可能（協議会内へご案内済）） https://20260828rinri.peatix.com/
3	電子情報通信学会	2026 年 7 月 13 日から 15 日にかけて札幌コンベンションセンターで、情報処理学会および人工知能学会との連催でセキュリティサマーサミット 2026 を開催した。 技術と社会・倫理研究会のセッションでは、日本における AI ガバナンスをめぐる法規制の体系的考察や、EU クラウド主権、および教育・研修目的の技術資料作成に関する発表があった。また、人工知能学会の安全性とセキュリティ研究会の提案で、昨今の最新鋭 LLM のサイバーセキュリティへの影響に関する企画セッションが開催された。
4	土木学会	
5	日本化学会	
6	日本機械学会	技術倫理委員会自体は前回以降開催されておらず、特段の活動報告はない旨の説明があった。加えて、次の案内がなされた。 9 月 6 日に機械学会年次大会を開催 その中で技術倫理委員会主催の市民フォーラムを実施 企業現場、大学現場、市民の立場から技術倫理を議論する企画 学会員以外も無料参加可能) 13:10-13:35 「超えてはいけない一線をどう守るか? ～現場の裁量と内部統制の狭間で技術者が直面すること～」 松浦 淳（豊田合成(株)） 13:35-14:00 「大学教員の教育者および研究者としての倫理」 松久 寛（技術倫理委員会委員・京都大学名誉教授） 14:00-14:25 「消費者市民社会における倫理と市民の役割」 柿野 成美（昭和女子大学大学院） 14:25-14:40 休憩 第 3 部 対話セッション 14:40-16:05（85 分）ワールドカフェ形式による参加型討議 14:40-14:50 趣旨説明・進行方法説明 14:50-16:05 ラウンド 1～3（25 分× 3 ラウンド） 第 4 部 全体共有・総括 16:05-16:45 全体共有・総括討議
7	日本技術士会	前回(2026/7/8)以降委員会開催なし。次回は 2026/9/17 に開催予定。
8	日本原子力学会	前回(2026/6/18)以降委員会開催なし。次回は 2026/8/25 に開催予定 2026/9/9 に秋の大会（愛媛大学）で企画セッションを開催予定。 企画セッションの内容

	学協会名	報告概要
		中部電力の不正事案を題材にする。 倫理委員会が倫理規程を有する中で、何ができたか、何ができなかったかを振り返る。 関連する中部電力側からの話題提供も予定 時間は1時間半程度であり、限定的ではあるが重要な検証の機会と位置づけられている。
9	日本建築学会	委員会・ワーキングの動き 倫理委員会の下に複数の小委員会・ワーキングが存在 7月14日 AI 知的財産と倫理ワーキング開催 AI と知的財産の課題について意見交換 7月29日 別の倫理ワーキング開催 論点整理と今後の活動方針を検討 倫理研修会の開催 8月6日「事例から学ぶ建築技術者倫理研修会」を実施 実際の企業内で技術倫理を扱う中核的人材を対象とした、高度な研修会として、講演とワークショップを組み合わせた形式で実施。 企業内での水平展開も期待して企画された。 内容 『建築と規範』の著者・後藤真一氏による基調講演 書籍は学会賞受賞作であり、建築分野に限らず広く示唆を持つ。 施工、設計、構造設計などの分野ごとにグループを分け、ケーススタディを実施 倫理的課題の発見、見解の整理、意思決定のあり方について議論 ファシリテーターは石川氏、神戸氏、平田氏が担当 専門家がどのような倫理的見解を有し、それが実務上の判断にどう結びつくかについて、有益な知見が得られた 倫理委員会作成の各種コンテンツがホームページで公開されている。教科書等も含めた教材資源が整備されている
10	日本工学教育協会	報告：特になし。 次回委員会を第74回日本工学教育協会年次大会（9月2日～4日 岐阜大学）会場にて開催予定。
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	

(5) 次回以降協議会日程について（審議）

次回は9月18日（金）10:00～12:00に開催予定

以上